

2021 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2021 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「政策科学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学科・政策科学専攻	3	2	2
計	3	2	2

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学科・政策科学専攻	8	8	8
計	8	8	8

【選考講評】

1. 実施状況

適性に実施されました。

2. 試験内容

口頭試問では以下の3つの質問を出題しました。

【質問1】

2011年以降の労働者過不足率と建築費の推移の図表から「分かること」を問う問題でした。

【質問2】

2011年以降に東日本大震災の復旧・復興事業、2014年以降に東京オリンピック・パラリンピックの関連施設建設が実施されたことと、提示された3つの図表とを関連付けながら、日本社会に起きている問題を説明するという問題でした。

【質問3】

新型コロナウイルス感染症拡大により、日本ではスポーツ、文化芸術のイベントの多くが中止、延期になりました。政府による迅速な直接支援のあり方は、日本と他国では異なっています。それらを踏まえて、スポーツや文化芸術の社会的な存在意義について、自分の考えを説明するという問題でした。

3. 出題意図

前掲の3つの質問は、本学部での学びに基礎能力として求められる①「資料分析力」、②「論理的思考力」、③「論理的表現力」を問うものでした。

4. 評価ポイント

前掲の①「資料分析力」、②「論理的思考能力」および③「論理的表現力」の3つの基礎能力を総合的に判断・評価しました。具体的には、①「資料分析力」について、「図表を正しく読み取れるか」、「資料の特徴・ポイントを理解できているか」などを、②「論理的思考能力」と③「論理的表現力」については、「質問の趣旨を十分に理解できているか」、「自分の考えにおける結論と論拠付けについて論理的に説得力を持ちながら説明できているか」などを、それぞれ確認し、その上で3つの基礎能力を総合的に評価しました。

5. 解答状況

質問1について、全体的には、図表の意味を正しく理解でき、分かることを説明できていました。

質問2について、全体的には、図表から読み取れる傾向と影響を理解した上で、自分の考えを論理的に説明できていました。

質問3について、全体的には、自分の考えをその理由や論拠に基づき、論理的に説得力がある説明ができていました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めています。

人の話や資料などを先入観にとらわれずに客観的かつ正確に理解する力を養ってください。また、そうして理解したことを、多角的視野から批判的に検討した上で、自分の考えを論理的かつ建設的に積み上げていく力を身につけ、適切に表現できるよう、日頃から心がけてください。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

政策科学部では、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。

- (1) 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること。
- (2) それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること。
- (3) 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること。

政策科学は総合的で文理融合的な学問であり、社会科学だけでなく自然科学の分野にもまたがっています。政策科学の学びの特徴を理解して意欲を持ち、広範な知識を習得することも心がけてください。

以上